

1年間の教育活動について報告いたします。数値は、4～6年生に実施した後期児童アンケート（「児」と表記）、または後期保護者アンケート（回答率43% 「保」と表記）の肯定的回答の割合です。すでに、白小だより特別号（2月2日）でお伝えしている内容との重複がありますのでご承知おきください。

1 学校経営方針「笑顔あふれるみんなの学校～認めて ほめて 伸ばす」

①児「先生がよいところをほめてくれる」82.1%

保「教職員は児童の声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」83.9%

保「家庭はお子さんの声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」98.9%

子供たちの活躍する場を設け、その中で子供の行動や言葉を「なぜよかったのか」が分かるよう価値づけ、ほめていくことを教職員共通理解して取り組んできました。しかし、保護者の皆様は、教職員は家庭ほど子供の声を受け止めていないのではないかと感じられているようです。真摯に受け止め、さらに子供たちに寄り添っていきます。

②児「自分にはよいところや得意なことがある」89.7%

全国学力学習状況調査（全国の6年生が実施、以下全国学力調査）同質問の全国、都平均を5ポイント上回っています。子供がより活躍できるような授業改善と、授業や生活の中で子供たちを「認めて、ほめて、伸ばす」を継続していきます。

2. 学力アップ（知）【重点】『進んで学ぶ子』

①児「授業で学んだことを理解できている」91.9%

児「クロームブック（タブレットパソコン）」を学習で使っている」89.7%

校内研究として全教員で「国語」を中心に実践を通して授業改善を図りました。少人数グループによる友達との意見交流が機能してきました。またクロームブックも友達同士の考えを交流するために有効でした。

②児「学校の勉強が好きである」72.4%

肯定的回答の割合が低く、3割近い子供が好きと感じていない結果を重く受け止め、子供たちの「できた」「分かった」が多く見られる、さらに学ぶ楽しさを感じられるような授業改善を進めていきます。

③児「宿題や自主学習など家で勉強する習慣がついている」76.2%

前期と比較すると肯定的回答は伸びています。家庭でのクロームブック活用も国や都の平均より高いです。（全国学力調査より）しかし、8割に満たず十分とはいえません。基礎・基本の確実な定着のためにも家庭学習への声かけを家庭でもお願いします。

3. 人間力アップ（徳）『助け合う子』

①児「自分からすすんであいさつをしている」87.0%

保「お子さんは基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い、早寝早起きなど）が身に付いている」83.4%

二中の生徒による朝の挨拶運動や代表委員児童、教員による挨拶運動も実施しました。それを一つのきっかけに挨拶の習慣が身に付けばと考え取り組みました。「自分から」という点は今後の課題です。

②児「いじめや仲間外れをせず、友達と仲良く生活をしている」94.1%

全国学力調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに98.8%が肯定的回答でした。全員が「いじめを許さない」となるよう道徳や特別活動の時間も活用していきます。けやきの森学園児童との直接交流や、福祉団体など地域の皆様からの指導もいただきながら、引き続き「自分も友達も大

切」と感じることでできる子供を育てていきます。

たて割り班活動が活発化し、下級生に優しい上級生が育ちました。

4. 体カアップ（体）『たくましい子』

①児「体育や休み時間はすすんで運動しようとしている」81. 1%

前期アンケートに比べると若干肯定的回答は増えました。しかし全国体力調査（全学年実施）によると、特に持久力に課題が見られました。持久走タイムや縄跳び週間で、運動の機会を与えてきましたが、外遊びの習慣化にはつながりませんでした。

未来へつなぐ府中2020レガシーの一環としてFC東京や読売ジャイアンツとも連携し、運動への関心を高めようとしてきました。日常の運動へとつなげることを課題とし、継続して取り組んでいきます。

②児「自分の安全は自分で守ろうと心掛けている」98. 4%

自らの健康、安全に関心をもち、自己管理できる子供を目指し、目標をもって避難訓練等に取り組んできました。

5 特色ある教育活動

①タグラグビークラブ（白小フェニックス）の活動

・新たな部員も増え、保護者の協力も得ながら活動ができました。府中市フォーリスカップで優勝するなど、練習の成果を発揮することができました。

②和太鼓クラブの活動

・週2回の朝練習やクラブ活動の時間で練習を重ね、文化センターまつりなど地域で演奏し、地域の方に喜んでいただきました。府中市青少年音楽祭でも発表の機会をいただきました。

③白小合唱団

・週1回の朝練習を中心に練習を重ね、Nコンや府中市青少年音楽祭で成果を発表しました。

和太鼓クラブ、白小合唱団は、校内でも全校児童の前で演奏する機会ももちました。

引き続き、この3つのクラブは継続し、子供たちに活躍の機会を与えていきたいと考えています。3クラブとも複数の教員が指導しており、クラブを持続させるための指導の仕方について検討してまいります。

④9年間を見通した小中連携（二中 十小 白小）

・3校相互に児童・生徒の授業を参観することができ、実態把握が進みました。

・小中の児童・生徒が一緒に挨拶運動に取り組み、二中学生会主催による新入生説明会に、6年生児童が参加し、中学校の様子を感じることができました。

6 その他

①保「学校は教育方針や活動内容、児童の様子を保護者会、学校公開や学校だよりなどで伝えている」98. 4%

学校公開に加え、保護者会の時にも授業を公開する参観保護者会も実施しました。少しでも多くの参観の機会を設け、子供たちの様子を知っていただくとの考えからです。学校だよりの中に学年情報を位置付け、保護者の方に他学年の学習内容等も知っていただくようにしました。またホームページも整理し、見やすくしました。しかし肯定的回答のうち「だいたい思う」が「とても思う」を大きく上回り70. 6%となっていることを受け止め、活動に合わせたブログ発信などさらなる情報発信を考えていきます。

②児「学校は安全なところである」89. 1%

保「学校は施設や設備を管理し、健康で安全にできる環境となっている」90. 0%

トイレの改修が終わり、清潔で使いやすくなりました。危険だった校庭の池周りも整理できました。しかし保護者の肯定的回答のうち「とても思う」は16. 7%に止まっています。不審者侵入防止の対策として放課後、休日の門の施錠なども、地域の理解を得ながら今後考えていければと思います。